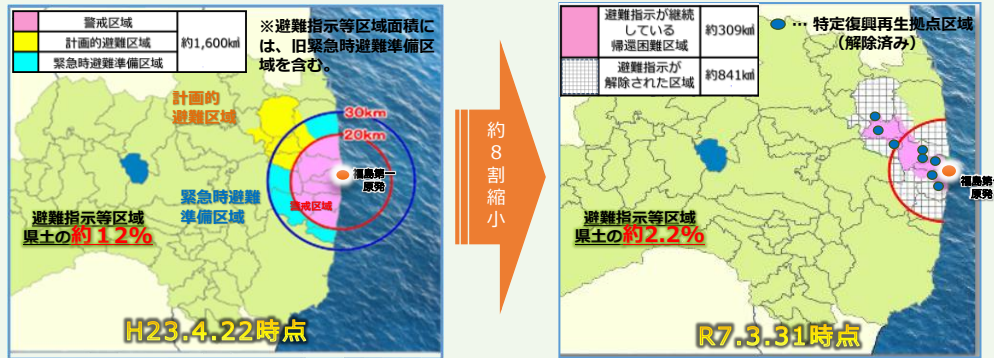


特定復興再生拠点区域及び特定帰還居住区域の復興・再生の推進

● 避難指示等区域の変遷



帰還環境の整備により避難指示の解除が進み、令和7年3月31日には飯舘村及び葛尾村で避難指示が解除。県土に占める避難指示等区域の面積は約12%から約2.2%に縮小。

【取組実績】

県土に占める避難指示区域の面積

約1,600km<sup>2</sup> (H23) → 約309km<sup>2</sup> (R7)

● 特定帰還居住区域の復興・再生の推進



帰還困難区域内の拠点区域外において、避難指示を解除し、住民の帰還・居住を可能とする「特定帰還居住区域」制度が令和5年に創設。令和7年度は新たに富岡町(R8.2.13)、双葉町(R8.2.13)、大熊町(R8.3.24)、葛尾村(R7.7.29)(R8.3.24)で当該区域が認定・拡大され、除染等の住民帰還に向けた取組が進行中。

【取組実績】

特定帰還居住区域復興再生計画認定件数(変更を含む) **5件**  
(富岡町、双葉町、大熊町、葛尾村 設定区域面積計 約354ha)